

(十二月物語) 2幕

# 森は生きている

ふぶきにとざされた冬の森に咲いたマツユキ草。

それは「四月の精」から、心やさしい「みなしご」への特別な贈り物でした。

一九五九年初演以来、全国の子どもから大人までを魅了した感動の舞台が  
おかげさまで二〇〇〇回公演を達成することができました。

詩情溢れる舞台 美しい音楽 移り変わる四季

燃えろ 燃えろ あざやかに  
夏はカッカと照るだろう  
冬はなるだけ暖かく  
春はやさしく照るがよい  
燃えろ 燃えろ 明るく燃えろ  
消えないように どんどん燃えろ

児童演劇の最高傑作を 世代を超えて21世紀へ

児童・青少年に質の高い舞台を提供することは、現代においてますます重要な課題のひとつです。「森は生きている」は劇団仲間の代表作で、60年を超え、毎年、年末年始に公演を重ねてきています。このようなロングランは作品の魅力や知名度もさることながら、幾世代にわたって多くの人達に愛され、全国各地で上演を待っている観客に支えられた、ひとつひとつの公演成果の積み重ねなのです。今後も劇団の総力をあげ、21世紀に輝く作品として新しい出逢いをしていきます。

作/サムイル・マルシャーク

訳/湯浅 芳子(岩波書店版)

音楽/林 光

出演者/27名

公演回数 2168回 '26年2月現在



劇団仲間

「人間をして、よりよく生かしめよ」劇団結成宣言(1953年)